

Nara Medical University

法人案内



公立大学法人
奈良県立医科大学

未来の医療を創造する

奈良県立医科大学は、1945年に奈良県立医学専門学校として設立されました。その後、旧制奈良県立医科大学開設（1948年）、新制大学への移行（1952年）、看護短期大学部の設置（1996年）、医学部看護学科への改組（2004年）を経て、現在は医学科・看護学科を擁する医科大学として着実な歩みを続けております。2025年には開学80周年という節目を迎えました。従来の四条キャンパスに加え、約11万6千㎡の広大な「畝傍山キャンパス」が新たに整備され、教育・研究・診療の更なる高度化に向けた基盤が確立されました。

本学は、「最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します」を建学の精神とし、高い倫理性と豊かな人間性を兼ね備えた医療人の育成を目指しています。AIや情報科学が急速に普及する現代において、本学が注力するのは高度な「デジタル力」、AIには代替できない「人間力」、そして、世界に通用する「国際力」を兼ね備えた人材の養成です。そのために、独自の「良き医療人プログラム」をはじめ、臨床英語教育、AI/DX教育など、時代の要請に応える先進的なプログラムを展開しています。さらに、早期から研究に参画する「リサーチクラークシップ制度」やミシガン大学をはじめとする海外大学8つの提携先との交流を推進しています。

2025年には教育・研究・診療の各分野におけるAI実装を加速させる「AIシステム医学融合イノベーションセンター」を開設しました。さらに、奈良先端科学技術大学院大学とともに一般社団法人奈良先端医工科学連携機構（MSTeC NARA）を設立し、医工連携を強化しています。加えて、150社を超える企業が参画する「Medicine-Based Town (MBT) 構想」のもと、研究成果の社会実装を推進する産学連携プラットフォームを構築しています。

本学附属病院は奈良県医療の「最終ディフェンスライン」を担う特定機能病院として、高度先進医療を提供しています。同時に、救急・災害・感染症医療の拠点、ならびにがんゲノム医療の中核拠点としての責務を果たしています。私たちは、全教職員が「医療人」としての自覚を持ち、患者さんに信頼される質の高い医療を提供し続けてまいります。



理事長・学長
嶋 緑 倫



職員数

全体 **2,645** 名

うち役員 5 名、教育職 397 名、
医員 485 名、研修医 86 名、
看護職 1,171 名、
技術職・事務職 等 502 名



学生数

学部学生 **1,037** 名

うち医学科 695 名、看護学科 342 名

大学院学生 **230** 名

うち修士 30 名、博士 200 名



決算

R 6 年度決算 (単位：千円)

経常収益 **60,023,083**

うち運営費交付金収益 4,939,419、授業料・入学金・検定料収益 816,714、附属病院収益 50,258,246、
寄附金収益・受託研究等収益 1,697,798、補助金等収益 2,016,634、その他の収益 294,272

経常費用 **62,114,002**

うち教育研究経費 2,959,016、医薬品費 20,085,811、診療材料費 5,967,554、その他の診療経費
8,308,659、人件費 21,746,247、一般管理費 2,994,359、その他の費用 52,356



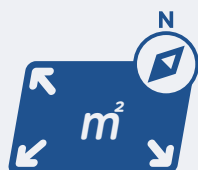
附属病院データ

医療従事者数

医師 **778** 名、看護要員 **1,171** 名、薬剤師 **62** 名、臨床検査技師 **75** 名、診療放射線技師 **64** 名、
臨床工学技士 **42** 名、理学・作業療法士 **42** 名、その他の医療技術職員 **45** 名、事務職員 **88** 名、
研修医 **86** 名

診療の状況

診療科数 **30**、病床数 (一般 **875**) (精神 **108**) (感染 **9**)、手術室数 **15**、年間手術件数 **8,793**、
入院患者数 (1 日平均) **767**、外来患者数 (1 日平均) **2,350**、平均在院日数 **11.1**



土地面積

219,648㎡

建物面積

171,682㎡

教育の理念

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探求心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

本学独自の特色のある教育課程を実施

学生の学外実習を推進

本学では、約10週間、国内や海外の大学、研究機関に所属して実際に研究を行う「10週研究室配属実習」を推進しています。



基礎医学英語教育の強化

反転授業のアプローチを用いて、学生の4つの言語スキル(listening, speaking, reading, writing)だけでなく、批判的思考力も育成することを目指しています。これは、ネイティブ講師が指導する、医療、看護、またはヘルスケアに焦点を当てた英語の授業を通して実現します。

- 【目的】**
- 1) 医療従事者や研究者としての将来のキャリアに必要な言語スキル(4つのスキル+批判的思考力)を育成する。
 - 2) 科学と医学の世界共通語であるアカデミック英語を、自信と流暢さを持って使いこなせるようにする。
 - 3) 英語を通して、21世紀の医療・ヘルスケアに関する知識を深める。



小グループワーク



反転授業



医学看護学合同教育科目の実施

チーム医療の重要性の認識や医療人として必要なコミュニケーション力の養成等、多職種連携の基盤形成を目的として、医学科生と看護学科生が合同で学ぶ「次世代医療人育成論」や「奈良学」等の医看合同科目を計12科目開講しています。

【目的】

- 1) 医学科と看護学科の学生が共に学ぶことで、多職種連携の基盤を形成する。
- 2) 他者と協働関係を結ぶ中で必要なコミュニケーション力とは何かを考え、それらを身につけるための理論と実践方法を学ぶ。



「次世代医療人育成論」人権教育



「奈良学」病院見学

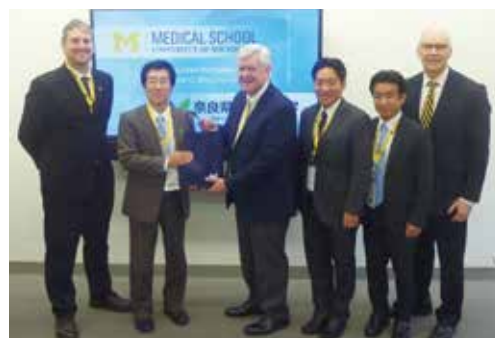
医学研究科博士課程に「本学とミシガン大学を代表するミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書」に基づき NM コースを設置

2018年12月13日、ミシガン大学医学部と医学的教育と科学的研究における協力を目的とした学術科学連携基本合意書を締結しました。

2019年3月から、この基本合意書に基づき、医学研究科博士課程にミシガン大学関連の研究や講義等を行うNMコースを設置し、国際的な視野を持つ研究者の教育にも力を入れています。

【NM コースを設置している科目】

- 免疫学(免疫学教室)
- 運動器再建医学(整形外科科学教室) ※括弧内は本コースを設置している講座名



基本合意書締結の様子

研究の理念

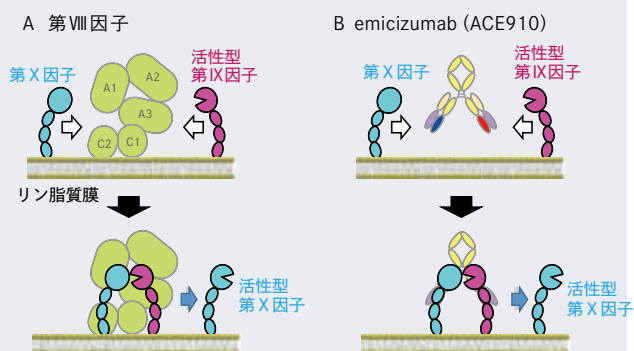
研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

日本を、世界を牽引する研究

血栓止血の制御に関する研究

本学では半世紀以上にわたり血栓止血学分野の研究が行われています。中でも血友病の病態や治療に関する研究は国内のみならず海外を常にリードしています。代表的な研究成果として、産学共同により開発した血友病A新規治療製剤であるバイスペシフィック抗体製剤(エミシズマブ)が挙げられます。本製剤は完全ヒト型遺伝子組み換え抗体製剤で、活性型第IX因子と第X因子を架橋して活性型第VIII因子作用を発揮するものです。半減期が30日と極めて長く、1～4週に1回の皮下投与で凝固機能を維持できる画期的な製剤です。本学小児科を中心に第1/2相臨床試験を行い、国際第3相臨床試験において、その有効性と安全性が確認されました。本製剤の登場により、血友病A治療のパラダイムシフトが世界中で起こっており、すでに100か国以上、20,000人以上の患者さんに使用されています。さらには、製剤に依存しない血友病Aの根治を目指した細胞治療の開発も進められています。ヒトiPS細胞から機能的な第VIII因子産生能を有した細胞への分化誘導法を独自に確立し、マウスへの移植実験にても血中第VIII因子値の獲得に成功しました。最近ではさらに、ゲノム編集技術を導入することで第VIII因子産生能のさらなる向上にも成功しております。

エミシズマブの作用機序



画像下での低侵襲医療に関する研究

本学は、エックス線透視像、CT像、超音波像などの画像をリアルタイムに観察しながら、体内に細い管(カテーテルや針)を挿入して治療を行うIVR(画像下治療)の発祥の地として、国内外に広く知られています。IVRの黎明期より、低侵襲かつ高度な医療の実現を目指し、先駆的な取り組みを継続してきました。

全国に先がけて、肝細胞がんに対する動脈塞栓術(TACE)をはじめ、胆管・消化管狭窄や閉塞性動脈硬化症に対するステント治療を開発・確立し、標準治療としての普及に大きく貢献してきました。さらに、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術においては、治療を主導する立場としてその有効性と安全性の検証に取り組み、本治療法の全国的な導入と発展を牽引してきました。近年では、慢性期運動器疼痛に対する新たなカテーテル治療などの新規医療にも積極的に取り組んでいます。

附属病院にはIVRセンターを設置し、豊富な臨床経験と高度な技術を背景に、国内外でトップレベルの症例数と治療成績を誇っています。



胸部大動脈瘤に対するステングラフト内挿術

ステングラフト内挿術に際して、上腸間膜動脈、両側腎動脈までカバーする必要があったので、同血管に一致した部位に開窓を施し、細径ステントを留置することで分枝血流の温存を図りながら治療を達成している。

運動器慢性疼痛に対するカテーテル治療

難病克服支援 MBT みんなで守るいのちの映画祭 第5回

MBT (Medicine-Based Town) 医学を基礎とするまちづくり

MBT 活動の一環として、難病克服支援 MBT 映画祭の開催や、ベンチャー企業設立支援、共同研究による商品化支援などを行っています。



奈良医大発、世界へ

MBT ～医学の力を産業創生、まちづくりに～

医師が有する膨大な知識を、患者さんの治療だけでなく広く産業に応用する、それが「医学を基礎とするまちづくり」～ MBT (Medicine-Based Town) の取り組みです。この発想を実現するために、2016 年には一般社団法人 MBT コンソーシアムを立ち上げました。現在約 160 社の民間企業・団体の参加を得て活動を行っています。

MBT コンソーシアム [検索 https://mbt.or.jp](https://mbt.or.jp)

業種	MBT コンソーシアム会員	企業数
建設	(株)イムラ、(株)奥村組、(株)崎山組、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、大和リース(株)、他	14
食品	石井物産(株)、(株)井上天極堂、江崎グリコ(株)、カンロ(株)、三和澱粉工業(株)、高山製菓(株)、UHA 味覚糖(株)	7
繊維・パルプ・紙	SUMINOE (株)、(株)高木包装、(株)ハヤシ・ニット、(株)Bonrich、(株)三笠、モード・ユニット工房(株)、他	11
化学	SB カワズミ(株)、(株)テクノーブル、ナノソリューション(株)、明晃化成工業(株)、他	5
医薬品	(株)オキシキャリア、クオール(株)、佐藤薬品工業(株)、新大和漢方(株)、積水メディカル(株)、中外製薬(株)、(株)ツムラ、ロート製薬(株)、他	9
機械	グローリー(株)、KTX(株)、シンクス(株)、(株)タカゾノ、(株)タカトリ、DMG 森精機(株)	6
電気機器	(株)オーディオテクニカフクイ、(株)コムテック、シャープ(株)、パナソニックホールディングス(株)、富士通 Japan (株)、他	9
医療・精密機器	エア・ウォーター(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、大研医器(株)、テルモ(株)、富士フィルムメディカル(株)、(株)メディパルホールディングス、他	14
その他製造	あけぼの化成(株)、三友商事(株)、昭和西川(株)、(株)ゼノン、大建工業(株)、日本ファイリング(株)、(株)モンベル、やまと真空工業(株)、レック(株)、他	14
商業	イオンリテール(株)、(株)電響社	2
金融・保険	城南信用金庫、損害保険ジャパン(株)、東京海上日動火災保険(株)奈良支社、(株)南都銀行、日本生命保険(相)、(株)三井住友銀行、他	7
不動産	(株)フクダ不動産	1
運輸・倉庫	近鉄グループホールディングス(株)、五條メディカル(株)	2
情報・通信	NTT 西日本(株)、(株)MBT 保健医療衛生研究開発機構、近鉄ケーブルネットワーク(株)、(株)産業経済新聞社、日新ネットワークス(株)、ピクシーダストテクノロジーズ(株)、(株)三菱総合研究所、(株)読売新聞大阪本社、他	12
電力・ガス	大阪ガス(株)、関西電力(株)、大和ガス(株)、奈良電力(株)	4
サービス	北関東総合警備保障(株)、グランドメルキュール奈良橿原、(株)健康都市デザイン研究所、小山 (株)、シェラトン都ホテル大阪、セコム(株)橿原支社、(株)ディー・エヌ・エー、(株)ドトールコーヒー、(株)奈良ホテル、(株)ローソン、他	29
公共・その他 (自治体、大学、病院)	(医) 梅華会、橿原市、東急(株)東急病院、(一社) 奈良経済産業協会、奈良県、奈良県立医科大学、奈良友誼会病院、(医) 平治会、他	9



診療の理念

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

病院機能の充実

各種基準を満たし指定・承認等を受けることにより、奈良県の基幹病院としての機能を充実させています。

高度医療の提供 特定機能病院

一般医療機関では実施することが難しい手術や高度先進医療などの先進的な高度医療を、高度な医療機器、充実の施設の中で行うことができる奈良県唯一の病院です。



地域の命を守る 災害拠点病院

当院は緊急事態に24時間対応し、災害発生時に被災地内の重症の傷病者を受け入れ、また、搬送し、医師団を派遣するなど、地域の医療活動の中心となる機能を備えた病院です。



地域の急性期・救急医療において重要な役割を担う 高度救命救急センター

本学高度救命救急センターは中南和地域の唯一の三次救急医療施設として、奈良県全域からの重症患者を24時間体制で受け入れています。救命センターには三次救急を中心に様々な救急患者が搬送され、その対象は内科系、外科系、中毒、熱傷など、広範な領域にわたっております。



施設認定一覧（一部） ●第一種・第二種感染症指定医療機関 ●基幹型臨床研修病院 ●特定承認保険医療機関（高度先進医療） ●エイズ中核拠点病院 ●精神科救急医療施設 ●都道府県がん診療連携拠点病院 ●がんゲノム医療拠点病院 ●肝疾患診療連携拠点病院 ●総合周産期母子医療センター ●認知症疾患医療センター（基幹型） ●腎臓移植施設 ●日本医療機能評価機構認定（3rdG:Ver.2.0） 各種学会からの認定も多数



高度医療の提供

専門的な治療や高度な検査、手術等を行い、奈良県の基幹病院としての役割を果たします。



放射線治療用リニアック
(True Beam STx)

高精度の強度変調放射線治療 (IMRT)、画像誘導放射線治療 (IGRT) などで、最先端のがん治療を実施しています。



ハイブリッド手術室

ハイブリッド手術室とは、手術台と心・血管X線撮影装置を組み合わせた手術室のことです。2つの機器を組み合わせることにより、最新の医療技術に対応します。



PET/CT装置
(Discovery IQx)

がんの病期や再発・転移の診断に主に用いられる画像診断装置です。検出器幅が長い最新型で、短時間で高品質の画像を収集でき、呼吸同期収集による画質向上も期待されます。



ダヴィンチXi
(内視鏡手術支援ロボット)

ダヴィンチは最先端の手術支援ロボットです。1～2cmの小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にします。

快適な院内空間

患者さんが過ごす空間を少しでも快適なものにするために、院内は明るくあたたかい雰囲気となるように努めています。



小児センター



スタッフステーション

地域交流・イベント

心と体の健康情報発信基地として地域の方々とふれあえる時間を大切にしています。養護学校の生徒たちの作品を院内廊下に展示するアート展や、院内コンサート、各種公開講座を実施しています。



学校と病院を結ぶアート展

2025 年 本学は開学 80 周年を迎えました



本学は県内唯一の医師養成機関として昭和 20 年に設立され、令和 7 年に開学 80 周年を迎えました。平成 16 年には看護学科を新設し、1 学部 2 学科の医科大学として発展を続けています。

また、令和 7 年 4 月には「畝傍山キャンパス」がオープンしました。畝傍山キャンパスは、かつての藤原京の中に位置するという歴史的背景を踏まえ、藤原京の大極殿院とその朝廷になぞらえた講堂や前庭を中央に配置しています。

南側に畝傍山を望み、周辺地域との調和のとれたキャンパスを整備しました。



医看合同講義室



ラーニングcommons



化学実習室



図書館

奈良県立 医科大学の変遷

- 1945. 04 奈良県立医学専門学校設立
奈良県立医学専門学校附属病院開設
(8診療科 215床)
- 1947. 07 奈良県立医科大学(旧制) 予科開校
07 奈良県立医科大学附属病院に名称変更
- 1948. 04 奈良県立医科大学(旧制) 学部開設
- 1952. 04 奈良県立医科大学(新制) 開設
- 1955. 04 奈良県立医科大学附属高等看護学校開校
- 1960. 04 大学院医学研究科博士課程設置
- 1977. 04 附属高等看護学校を附属看護専門学校に
名称変更
- 1994. 03 大学の理念及び目的を制定
- 1996. 02 附属病院が特定機能病院の承認を受ける
04 看護短期大学部開学
- 2004. 04 医学部看護学科開設
- 2007. 04 公立大学法人奈良県立医科大学へ移行
- 2008. 04 大学院医学研究科修士課程設置

- 2012. 04 大学院看護学研究科修士課程設置
- 2017. 04 「奈良県立医科大学の将来像」の策定
04 法人のシンボルマーク及び
イメージキャラクターを制定
- 2018. 02 附属病院にドクターヘリポート竣工
- 2024. 04 大学院看護学研究科博士後期課程設置
- 2025. 04 畝傍山キャンパス供用開始
05 開学80周年記念式典挙行



奈良県立医科大学
Nara Medical University



(しょうとくた医師くん)

法人のシンボルマーク、イメージキャラクター

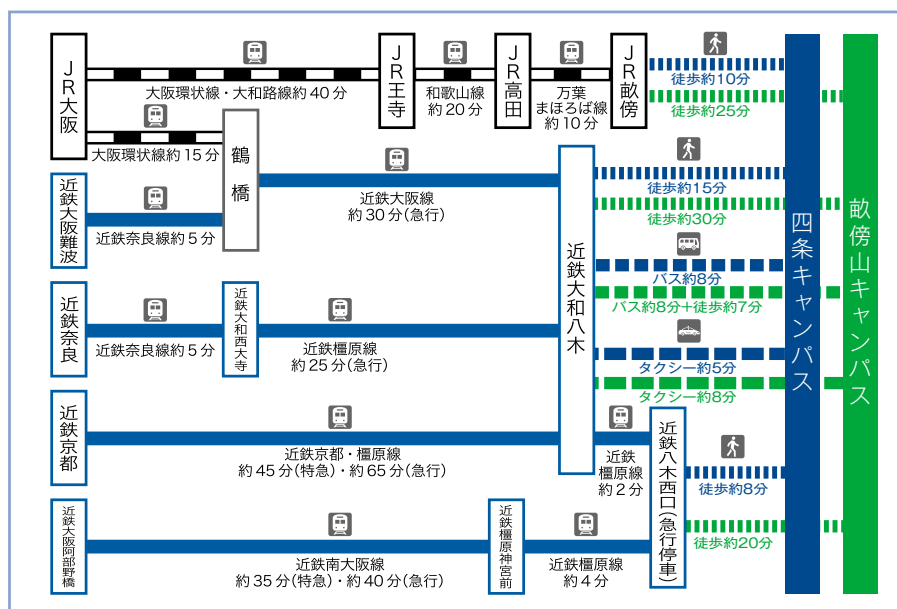
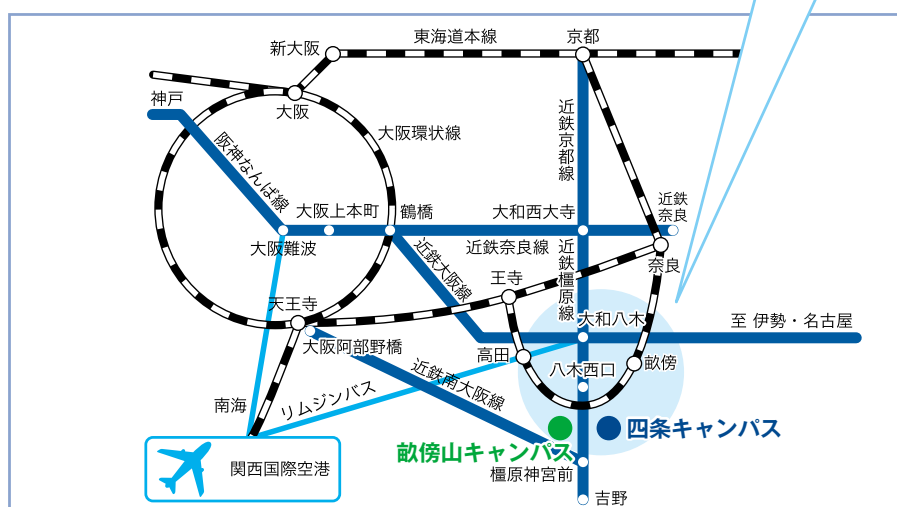
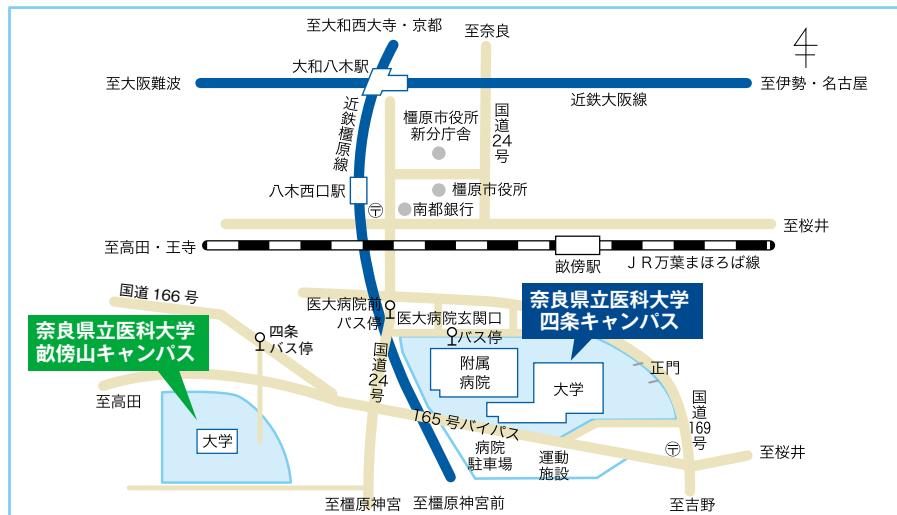


1965年ごろの四条キャンパス全景



2018年の四条キャンパス全景

交通のご案内



〒634-8521 奈良県橿原市四条町840

TEL 0744-22-3051

URL <https://www.naramed-u.ac.jp/>